

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第161号

令和元年8月27日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

協議会事務局の青少年センター科学部が厚木に移転後、初の夏休みです。各種講座が厚木の科学体験室で数多く開催され、やっと近隣の子供達に利用してもらえるようになってきました。そこで、今号は事務局の厚木で開催された講座の様子をお伝えします。

子ども科学講座・ものづくり体験教室 開始

夏休みと冬休みを中心に開催する「子ども科学講座・ものづくり体験教室」が始まりました。

ものづくり体験教室

家にあるものや、100円ショップなど身近なところで入手できるものを使うものづくりを行います。

7月30日(火) ゴムCARで競走しよう

車を走らせる上で最も重要なタイヤを自分で円で描き、自分で切り取ってもらいました。



約1時間かけてようやく完成
完成後に「どうしたらまっすぐ進む?」「遠くまで進む?」と試行錯誤



最後は大会を開きました。
優勝者の走行距離は
7m50cmでした



夏休みは高校生のボランティアも多く、子ども達は嬉しそうに自分の車を見せています。

7月31日(水) 海の小さな生物で作る標本

色々な海の生物が混ざった乾物から、気になる生物を取り出します。



虫眼鏡で確認しながら
図鑑を見て分類しました



ボランティアに相談しながら、興味を抱いた標本を選びます

プラスチック弁当箱が
小さな標本箱になりました



以前にあったフグ混入事件の影響か、最近はチリメンジャコの袋の中に、エビやカニなどが混ざっていることが少なくなりました。そのため、この標本専用のチリメンジャコの袋詰めも売られています。

Science Topic ハザードマップを見たことがありますか?

日本は、地震・火山・台風・梅雨・降雪・融雪などにより、多様な自然災害が起こりうる国です。観光地ではどこが危険なのか公開することをためらう場合もあったでしょうが、今から30年以上も前に十勝岳の火山ハザードマップが富良野町・美瑛町の住民に公開・配付されたことは、海外でもよく知られています。その後徐々にハザードマップという言葉が広まり、最近は各地でハザードマップが作成・公開されています。とくに洪水や土砂災害のハザードマップはかなりの自治体が作成していますが、じっくり見たことがある人は少ないのではないのでしょうか。

神奈川県内の市町村では、県が作成した「洪水浸水想定区域図」を基に避難所等を示した「洪水ハザードマップ」を作成していて、各市町村ホームページで閲覧することができます。まだ見てない人は、住まいや勤務先周辺のハザードマップを見てみませんか?

子ども科学講座

科学への興味・関心を高めようと、様々なテーマで実験や観察を行います。

8月1日(木) 音と光のふしぎ

和紙と風船で作る
ランプシェード
途中まで作って、持ち帰り
仕上げは家で



踊るヘビ
紙コップの上に置いたモールのヘビが、声に反応して踊ります



光の工作
レインボースコープ作成



光の実験
光の三原色を混ぜてみました
そのほか、糸電話やファイバースコープで実験をしました

月7日(水) 顕微鏡で観察しよう

まずは顕微鏡のパーツの名称を学習

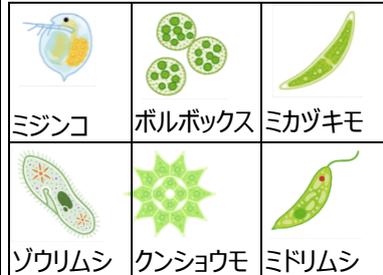


次に操作の練習
接眼レンズを自分の目の幅に合わせてから始めて、観察開始



オオカナダモの葉 メダカの卵など

慣れてきたらスライドに未知の生き物をセットして観察
観察した生き物が何だったのか確認して、表にしました



8月8日(木) DNA を発見しよう

DNA についての講義から開始



DNA って
なんだろう??

DNA には
何がある??

DNA って
見える??

実験方法確認



ブロッコリーから
DNA を取り出します
意外と簡単に取り出せることにびっくり



「見えた！」
現れた DNA を覗き込みます



最後に
DNA 二重
らせんモデルをビーズ
で作成

初めて参加する子ども達が多く、場所がわからない人のために、案内看板代わりに外で白衣で立ちました。
どうしても道がわからない一人で来た小学生を、駅まで白衣でお迎えに行ったこともありました。街中の白衣は目立ちます！

教員向研修科学講座

主に小学校の教員向けに、理科が専門ではない教員も気軽にできて楽しめる題材の紹介や、安全な実験のための講義を行いました。



事務局から

7/23 プログラミング

7/24 物理

7/25 生物

7/26 化学

お盆休み明けの通勤電車の中は、少しうつろな空気が漂っています。一方で、最近では夏休みの終わりが8月末より前になっている学校が多く、子ども達は宿題や遊びの最後の追い込みの時期です。本協議会の施設や講座を体験や勉強、自由研究などで子ども達に活用して欲しいですね。(事務局:千葉、伴、熊切、山田)